

令和4年度第1回さいたま市青少年宇宙科学館運営委員会 議事録

1 開催日時

令和4年8月23日（火） 15時00分から16時30分

2 開催場所

青少年宇宙科学館 2階 団体抛室

3 出席者

【委員：9名】

- ① 大向 隆三委員長
- ② 鶴ヶ谷 柊子委員
- ③ 溝口 景子委員
- ④ 佐久間 由記委員
- ⑤ 鈴木 伸嘉委員
- ⑥ 木村 良治委員
- ⑦ 引間 陽子委員
- ⑧ 野平 尚彦委員
- ⑨ 吉野 浩一委員

【事務局：4名】

- ① 山浦 麻紀（生涯学習部長）
- ② 豊田 由香（青少年宇宙科学館参事兼館長）
- ③ 金子 祥大（青少年宇宙科学館主任指導主事兼事業係長）
- ④ 森田 貴次（青少年宇宙科学館館長補佐兼管理係長）

4 欠席者

饗庭 加和委員

5 議題

- (1) 令和4年度 事業計画について
- (2) 令和4年度 事業の進捗状況について
- (3) その他

・議事（１）令和４年度 事業計画について

鈴木委員：他の都道府県、他の市区町村との連携や合同企画展など、合同出資しての事業は行っているのか。

金子係長：合同出資による事業は行っておりませんが、若田宇宙飛行士アカデミーやスペースコースなどにおいて、佐賀県立科学博物館の館長をお招きしての講義は行っております。

溝口委員：科学館公式のYouTubeチャンネルはオープンされているのか。

金子係長：準備中であり、もうすぐオープンいたします。

大向委員長：「宇宙のまち さいたま教育プロジェクト」と「宇宙のまち さいたま事業」の区別についてお伺いしたい。

金子係長：「宇宙のまち さいたま教育プロジェクト」は「さいたまSTEAM S教育」を柱としたプロジェクトであり、このプロジェクトに基づき、展示事業、教室事業、「宇宙のまち さいたま事業」等の分類化がされております。

大向委員長：新型コロナウイルス感染症の対応状況について、入館者の中に感染が発生した場合に何か対策を講じた例はありましたか。

豊田館長：今までに来館者や保健所から感染者の発生情報の連絡がないことから、対策を講じた例はございません。ただし、濃厚接触者等の判断のため、来館者には「来館者記録」に氏名等の記載は今もお願いし、保存しております。

大向委員長：将来何らかの対策は講じる可能性はあるのか。

豊田館長：多くの方が発生した場合には対応する必要性があることから、「来館者記録」は保存しております。

大向委員長：若田宇宙飛行士応援プロジェクトの後のイベントはどのようなものか

豊田館長：帰還後報告会として、来年度の計画はたてております。

木村委員：「市民に親しまれる事業」とはどのような事業なのか。

金子係長：「天体観望会」、「リュウグウの展示」などであり、幼児の方、保護者の方など様々な年代の市民の方々に楽しんでもらえるよう、事業を進めております。

大向委員長：高校生や大学生に向けたプログラムはあるのか。

金子係長：高校生に向けてのプログラムとしては、まずはロケット大会があります。また、昨年度立ち上げた「若田宇宙飛行士アカデミースペースコースアドバンス」があり、「スペースコース」を卒業した学生が参加する事業であり、「スペースコースアドバンス」に参加する時は高校生になっております。

佐久間委員：来館した際に、新聞部の高校生が団体で来館されており、「学校で“科学館”を取り上げる」と言っていた。また駅の看板で何かを探している人がいて、「科学館に行きたい」と言っていた。幅広い市民の方が利用され、愛されていると感じました。

・議事（2）令和4年度 事業の進捗状況について

吉野委員：様々行っている事業を YouTube で発信すれば良いと思う。何か展望は考えているのか。

金子係長：若田宇宙飛行士の打ち上げを生中継することなどを YouTube に挙げたり、企画展やワークショップの照会、サイレンジャーの簡単な実験動画等を挙げ、身近に感じてもらうことや、サイエンスフェスティバルの動画コンテストの参加に促せるように考えています。

大向委員長：倍率の高い、人気のある「天体観望会」について、参加できなかった方々に対して、YouTube に挙げたり、ホームページにリアルタイムに画像を流すことは考えているのか。

金子係長：YouTube の運用が軌道に乗ってきたら可能だと思います。将来的にも検討していく課題と考えております。

鈴木委員：体験型の事業は非常に整理されていて良いと思うが、展示事業をもっと充実していただきたい。例えばアニメの天体系とコラボするなど、アニメを使って展示事業を行えば、年齢層の高い方にも利用してもらえないかと考えるので検討してもらいたい。

鈴木委員：ロボットコースについて、コンプリートすると何か特典があるとか、何か計画性はあるのか。

金子係長：今現在ではコンプリートということは考えていません。今後検討していきます。

鈴木委員：応募して抽選に選ばれなかった場合、次の応募の際には、抽選で選ばれなかった方を次点させるなど、応募者の方に悪いイメージを与えないほうが良いと思うが、どう考えているのか。

金子係長：今現在は「完全抽選」を行っており、ハガキで応募してもらう方式を採用しています。人気が多いことから、調整はしている。

鶴ヶ谷委員：小さいお子様向けの「はじめてのプラネタリウム」ですが、具体的な工夫は何をされていますか。

金子係長：星の簡単なクイズを出すことや、小さなお子様向けに向けた解説をするなど、毎月実施し、小さなお子様に慣れてもらうような場を提供しています。

鶴ヶ谷委員：大きいお子様向けの「ロボットコース」等で宇宙の事を研究する子が出てきたこと等の分析は考えていますか。

金子委員：4～5年目の事業ではありますが、大学生になっても何かプラスになってもらうように「スペースコースアドバンスの開設」、「清水建設様の研究」、「キット製鋼様が作成している、はやぶさ2号の一部に使用されているネジ」、「アストロスケール様による講義」等、様々なプログラムを用意し、スペースコースを進めています。

鈴木委員：展示事業について、例えば「星空のある風景写真展」に対する、企画

した方の苦勞話や天文学的な話などのワークショップがあれば良かったのかなと思います。事前に日程を公開すれば、ワークショップを目当てに来館される方もいるのかなと思います。

金子係長：「星空のある風景写真展」については、星や月の写真の撮り方を、年3回行っている天文宇宙教室において、科学指導員による望遠鏡を使用した教室事業を行っていますが、すべての展示についての関連したワークショップは実施していませんので今後検討していきたいと考えております。

野平委員：「天体観望会」の抽選方法について、今はハガキによる方法ですが、ネットでは考えないのか。

金子係長：令和5年度からネットによる応募や抽選を行う予定でおります。今は様々な課題に対して調整しています。

野平委員：人気のある「天体観望会」について、葛飾の科学館では天体観望会の回数が多かった。そして天体観望会のスタッフが昼から勤務するなど、勤務時間の調整をしていた。今後様々な情報を収集し、工夫や改善してくれたらと考えております。

豊田館長：科学指導員である会計年度任用職員は、「天体観望会」のある日は、昼から夜までの勤務にして対応しております。なるべく多くの方々に参加してもらうよう検討していきたいと考えております。

溝口委員：小学校の授業で、「生活に役立つ動きをするロボットのプログラミング」を行っている話を聞くが、若田宇宙飛行士ロボットコースのプログラミングの様態を公開していただくことは可能か。

豊田館長：YouTubeで配信できるように考えております。

溝口委員：若田宇宙飛行士のフライトの様子について、子どもたちが学校にいる時間であれば、生中継でタブレットで観ることは可能か。

豊田館長：明日の校長会で、校長先生方をお願いしたいと考えております。

大向委員長：ボランティアの方々の、引き続きの協力を充実させるために、手立

てや工夫は考えているのか。

金子係長：今のボランティアの方々に、後任の方を紹介してもらったり、多方面からのアイデア等を取り入れながら、少しずつモデルチェンジを考えております。

・議事（3）その他

大向委員長：何かございますか。

事務局：特にございません。

7 閉会